



今の状況を
変えるための本。

現状打破のルール。

Camelliaism

ようこそ。

この本を読んでいるということは、

あなたは心底毎日がしんどいか、

「最近きついなあ」

と感じているということになりますが、

それでよろしいですか？

なぜきついのでしょうか？

なぜ苦しいのでしょうか？

この本では、それらの原因を考え、

打開策を見出すことを主軸に書いていきます。

この本の対象者。

なんとなく人生に疲れてしまった人。

なぜきついかといえば・・・

実は、“辛い”とか“しんどい”か、

そういうことを感じるのは単純に

今のスタイルが自分に合っていないからなんです。

すっごく単純な話なのですが、

なぜか多くの方は

「気合が足りない」とか

「甲斐性がない」とか

「今の若者は(以下敬称略)」という解釈を始めます。

確かに、ハナからやる気0はどうかと思いますが、

そういうことではなくて、

「ある程度の期間一生懸命に取り組んでみたけど、

やっぱりちょっと・・・」

という場合は、

真剣に考えなければいけません。

頑張ったけど違和感が残るということは、

あなたが努力不足なのではありません。

原因は別にあります。

それがあなたに合っていない。

本っ当にそれだけです。

それは慣れではない。麻痺である。

「そうはいつでも、

誰にでもそういう時期はあるもんだ。

それを乗り越えて、

慣れを覚えてこそ、大人というものだ。

全く、最近の若いもんときたら・・・」

前項については、

こういう反論が飛んできそうです。

いや、飛んできますね。

う～ん・・・

私にいわせれば、

今の若い人はむしろ進化していると思いますが。

ぎゅうぎゅうの満員電車で通勤して、

自分の時間を売って、

くたびれて帰る。

果たして、

「これでは奴隷制となんら遜色ないな」

と思ってしまうのは、

私がアホスカポントンなのでしょうか？

昔はそれしか選択肢がなかったから、

そういうのも仕方がない

ということだったのでしょ。

ですが、こればかりは推測ですが、

何人かは「なんかおかしいぞ」

と感じていたと思います。

それでも、毎日を消化するうちに

だんだんと“意識”が薄れ

辛い・苦しいという感情が

動作をストップしていくのです。

それを慣れたというようですが、

単純に思考停止して麻痺しているだけです。

人間は極端に辛い状況に長時間拘束されると、

精神的負担を減らすために

脳が思考を止めてしまうのです。

無論、脳へのダメージは計り知れません。

それは、時代が許した。

前項のような状況に、

しっかりと「ん？」

と感ずることができた人たちが、

現在続々と

自分で生活の糧を創造しようと動いています。

彼らは、

自分の時間は有限であるという、

めちやくちや重要なことに気づいたのです。

だからこそ、

人生を自ら切り開いていこうとしているのです。

今はネット社会です。

少しの間真剣に考えて、

真剣に行動すれば、

自分でビジネスをすることも可能になりました。

こればかりは

ラッキーだったとしかいいようがありません。

ネット社会に生きていることに

感謝しなければなりません。

で、あなたはどうすれば良いのか？

さて、途中話が脱線しましたが、

ここで私がいいたかったのは、

今の時代は昔に比べれば

割と簡単に脱出できますよ

ということです。

これを知っているか知らないかも、

人生に与える影響は大幅に異なってきます。

さて、あなたは脱出したいですか？

ひとつ確認して欲しいのですが、

今の状況が本当にきつい、もうイヤ！

ということが、

とりあえずは前提条件です。

つまり、食わず嫌いはダメですと、

私は述べているのです。

ひと通りやってみただけ

なんか違うと思ったなら、

是非とも脱出の道を探してみましよう。

潜伏期間。

脱出しましょうとはいったものの、

いきなり今日に明日にというのは、

さすがに無理があります。

やはり、

ある程度の準備期間というものが要ります。

ただ、

何年もかかるものではありません。

1年あれば、脱獄用の穴は完成します。

問題は、その間に何をするかです。

お勉強。

答えをいってしまえばお勉強なわけですが、

これは資格の勉強ではありません。

あ、資格の勉強でも構いませんが、

流石にそうなってくると

1年以上はかかってしまいますので、

その点、注意してください。

さて、潜伏期間にやるべきことは、

平たくいえば稼ぐための勉強です。

お金の話は前著で散々したので

ここでは簡単に済ませますが、

結局、人間の悩みの源泉は、

お金か、性か、そのどちらかです。

そして恐ろしいことに、

人間の三大欲求の

ひとつである性欲をおさえて

お金がすべての鍵を握っているのが、

現代の特徴です。

1億円あっても、

今の人間関係に悩みますか？

1億円あっても、

仕事のためにストレスを溜めますか？

というより、

1億円あったら仕事を辞めて本当にしたいことを

する人が続出しそうですが。

何をすればいいのか？

稼ぐための勉強といたしても、

たくさんあります。

起業、フランチャイズ、投資、

ネットビジネス、ネットワークビジネス、

などなど。

これ以外にも、私が知らないだけで

本当にたくさんあります。

ですが、

この本はオススメのビジネスを

伝えるための本ではありません。

脱出のための本です。

ここでいう脱出という言葉には、

物理的脱出、精神的脱出が含まれています。

私は主に精神面を重視します。

理由は簡単で、

マインド(精神)が腐っていれば

そこにいかなる技術を付加したとしても

何の意味もないからです。

まずは、個別の物事に対する

本質的な考え方を身につける必要があるのです。

この本質的な考え方は、

必ずしも世に出回っているわけではありません。

なぜか、隠されている場合もあります。

これが情報操作でなければなんなのか

という話なのですが、

議論するだけ無駄なので次に進みましょう。

正しい認識はない。だけど・・・

マインドの勉強を重視していく旨を

前項で話したわけですが、

人によっては学ぶ中で

これまでの自分とは真逆の考えを

強いられる場面もあるでしょう。

これはこれで違和感を生じさせますが、

通過儀礼だと思って乗り切りましょう。

重要なのは、

成功者の共通認識をインストールすることなのです。

これは成功者の真似をするものではありません。

そのような表面的なものではなく、

もっと内面的で精神的なもの、

すなわち成功者に共通した

メンタリティの獲得を目指すものです。

早い話が、

廃スペックを最新のハイスペックに

変えようということです。

考え方なんて簡単に変えられるのだろうか？

とあなたは思うかもしれませんね。

ご安心ください。

人間の価値観なんてものは、

簡単にリセットからの

再構築ができます。

脳は複雑な構造というイメージがありますが、

マジックで人が簡単に騙されるように、

実は隙が多いものなのです。

騙すというと表現が悪いですが、

パラダイムシフトは簡単だということです。

というわけで。

今ある価値観を変えていくために、

あなたは勉強をしていくことになります。

成功者のマインドをインストールするには、

彼らが発信しているものを

ひたすらに吸収していくということに付きます。

むしろ、これ以外の方法がありません。

私はこの手の話になると、

大体は読書をしましようということ

よくいうわけですが、

別に読書に限らずとも

YouTube など

無料で閲覧できたりもします。

ですので、

月並みな表現ですが

まずはできることから始めましょう。

結果、富が手に入る環境ができる。

真剣に半年から1年、

前述してきたような勉強をしていけば、

あなたの思考は従前とは全く異なる

異次元のものに変貌しています。

世の既存の価値観が窮屈に思えてきます。

これで環境は整いました。

あとは、

富を獲得するための行動に移ることになります。

私が話せるのはここまでです。

その後は、あなたが決めてください。

可能性としては、

手にしたマインドを活かして

あえて今の環境で頑張ってみるか。

それとも飛び出して別に世界へ行くか。

はたまたそのいずれもか。

これは人によって、

状況によって変わってきますので、

私が「こうしろ・ああしろ」

ということは残念ながらできません。

あなたもいちいち指図を受けるのは

鬱陶しいですよ？

私がお伝えできるのは、

一応のロードマップだけです。

後はあなた自身が、

好きなように書き加えて

オリジナルのものにしていきましょう。

反逆NO合図。

最後まで読んでくださり、

本当に有難うございます。

私の話は抽象論が多いので、

読みにくい箇所もあったと思います。

ですが、お伝えしたことは

ふんわりした話ではなく、

今から使える考え方です。

ですので、

どんどん実践してみましよう。

あなたは今ある状況を変えるために、

あえて戦う道を選びました。

今いる環境にNOを突きつける決心をしました。

実に素晴らしい。

「猿の惑星ジェネシス」という作品で、
主人公のシーザーが初めて発した言葉が
「NO!」でした。

そこから猿たちの反撃が始まるのです。

これは映画だけの話ではありません。

今こそ、NOをいえる人が求められています。

社会のルール(主に法律)には

従う必要がありますが、

あなたの人生は

あなたがコントロールしましょう。

そこはむしろ、

誰にも委ねてはいけません。

他人の夢の奴隷なってはならないのです。